



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場会社名 レック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7874 URL <http://www.lecinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 光男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 増田 英生

TEL 03-5847-0600

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,639	16.3	1,624	△3.3	1,528	△15.8	949	△2.9
23年3月期第3四半期	16,890	5.8	1,679	44.1	1,815	45.2	977	42.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,052百万円 (32.0%) 23年3月期第3四半期 797百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	126.60	—
23年3月期第3四半期	132.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,980	20,470	73.2
23年3月期	23,935	18,574	77.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 20,470百万円 23年3月期 18,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年3月期	—	20.00	—		
24年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,100	15.4	2,220	30.8	2,080	14.5	1,300	55.1	167.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	8,541,335 株	23年3月期	7,391,335 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	40,848 株	23年3月期	40,809 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	7,498,505 株	23年3月期3Q	7,350,615 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成23年11月24日を払込期日とする公募増資により普通株式1,000,000株を発行しております。また、平成23年12月14日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連して行われた野村証券株式会社を割当先とする第三者割当増資により普通株式150,000株を発行しております。平成24年3月期の業績予想に記載の通期の1株当たり当期純利益は、上記公募増資等による株式の増加を含めて算出される期中平均株式数7,747,631株により計算しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況が続くなか、持ち直しの動きは見られるものの、電力供給の制約や雇用情勢の停滞及び欧州債務問題のリスク増加等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当グループの属する日用品業界におきましては、防災用品、電力不足対策として節電・暑さ・寒さ対策用品等を中心に需要が増加していますが、厳しい景況感を背景に節約志向や価格訴求によるデフレ状況が続いており、経営環境は厳しいものとなっております。

このような環境の中、当グループでは、引き続きこの市場環境を当業界におけるNo.1企業になるチャンスとして捉え、新製品の企画開発に注力し各品目群において順調に新製品を発売できたこと、「水99.9%のおしりふき」・「ピタQ吸着便座シート」等をテレビCMや各種キャンペーン等の販売促進活動により拡販したこと、防災用品、節電・暑さ・寒さ対策用品を顧客ニーズに対応し供給できたこと、内製化によりコストダウンを図るとともに顧客ニーズに細やかに対応した生産を行ったこと等により、業容の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は196億39百万円(前年同期比16.3%増)となり、当第3四半期連結会計期間においてテレビCM放映等の販売促進費用が増加したこと等から営業利益は16億24百万円(前年同期比3.3%減)、デリバティブ評価損を計上したこと等から経常利益は15億28百万円(前年同期比15.8%減)、税金費用が減少したこと等から四半期純利益は9億49百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

なお、事業の品目別の売上高の状況は、次のとおりであります。

品目の名称	前第3四半期連結累計期間 (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比(%)
収納・インテリア用品	2,535	2,844	+12.2
サニタリー用品	3,542	3,868	+9.2
洗濯用品	1,881	2,011	+7.0
清掃用品	2,199	2,613	+18.8
キッチン用品	2,205	2,547	+15.5
ベビー・キッズ用品	1,341	1,718	+28.1
その他	3,184	4,036	+26.7
合計	16,890	19,639	+16.3

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ40億44百万円増加し、279億80百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ30億55百万円増加し、176億66百万円となりました。主な増加は、売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加17億81百万円、新製品の在庫を積み増したこと等による商品及び製品の増加15億52百万円、原材料及び貯蔵品の増加3億44百万円であり、主な減少は、現金及び預金の減少7億6百万円及び有価証券の減少5億円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ9億88百万円増加し、103億13百万円となりました。主な増加は、生産機械設備の増強等による有形固定資産の増加8億15百万円、保有有価証券の時価上昇等による投資有価証券の増加3億4百万円であり、主な減少は、のれんの減少1億2百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ21億47百万円増加し、75億9百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ24億56百万円増加し、53億83百万円となりました。主な増加は、短期借入金の増加23億円、支払手形及び買掛金の増加1億27百万円であり、主な減少は、未払法人税等の減少4億22百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少し、21億26百万円となりました。これは主に、社債の減少2億26百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ18億96百万円増加し、204億70百万円となりました。これは主に、新株式発行による資本金の増加5億69百万円及び資本剰余金の増加5億69百万円、利益剰余金の増加6億55百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月24日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,560	2,854
受取手形及び売掛金	5,641	7,423
有価証券	601	100
商品及び製品	2,957	4,509
仕掛品	117	231
原材料及び貯蔵品	673	1,018
その他	1,065	1,535
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	14,610	17,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,031	2,963
その他(純額)	3,443	4,327
有形固定資産合計	6,475	7,291
無形固定資産		
のれん	294	191
その他	216	188
無形固定資産合計	511	380
投資その他の資産		
投資有価証券	1,742	2,046
その他	641	630
貸倒引当金	△45	△35
投資その他の資産合計	2,338	2,641
固定資産合計	9,325	10,313
資産合計	23,935	27,980

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	599	727
短期借入金	82	2,382
未払法人税等	490	67
賞与引当金	235	137
その他	1,518	2,069
流動負債合計	2,926	5,383
固定負債		
社債	1,164	938
長期借入金	257	214
退職給付引当金	363	349
役員退職慰労引当金	296	311
負ののれん	303	238
資産除去債務	36	35
その他	13	38
固定負債合計	2,435	2,126
負債合計	5,361	7,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,403	4,972
資本剰余金	6,021	6,590
利益剰余金	8,523	9,178
自己株式	△226	△226
株主資本合計	18,721	20,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70	272
繰延ヘッジ損益	6	△19
為替換算調整勘定	△224	△296
その他の包括利益累計額合計	△147	△44
純資産合計	18,574	20,470
負債純資産合計	23,935	27,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	16,890	19,639
売上原価	10,065	11,959
売上総利益	6,824	7,680
販売費及び一般管理費	5,144	6,056
営業利益	1,679	1,624
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	23	24
負ののれん償却額	65	65
為替差益	2	—
助成金収入	17	40
その他	40	48
営業外収益合計	159	187
営業外費用		
支払利息	16	17
デリバティブ評価損	—	225
為替差損	—	21
支払保証料	6	4
その他	1	14
営業外費用合計	23	283
経常利益	1,815	1,528
特別利益		
投資有価証券売却益	18	—
貸倒引当金戻入額	13	—
特別利益合計	31	—
特別損失		
固定資産除却損	1	39
投資有価証券売却損	5	—
投資有価証券評価損	4	5
会員権評価損	6	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20	—
特別損失合計	38	47
税金等調整前四半期純利益	1,808	1,480
法人税、住民税及び事業税	801	495
法人税等調整額	29	35
法人税等合計	830	531
少数株主損益調整前四半期純利益	977	949
四半期純利益	977	949

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	977	949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	201
繰延ヘッジ損益	△12	△26
為替換算調整勘定	△109	△72
その他の包括利益合計	△180	102
四半期包括利益	797	1,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797	1,052
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年11月24日を払込期日とする公募増資及び平成23年12月14日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が5億69百万円、資本準備金が5億69百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が49億72百万円、資本剰余金が65億90百万円となっております。